



あなたと地域を結ぶミニコミ誌

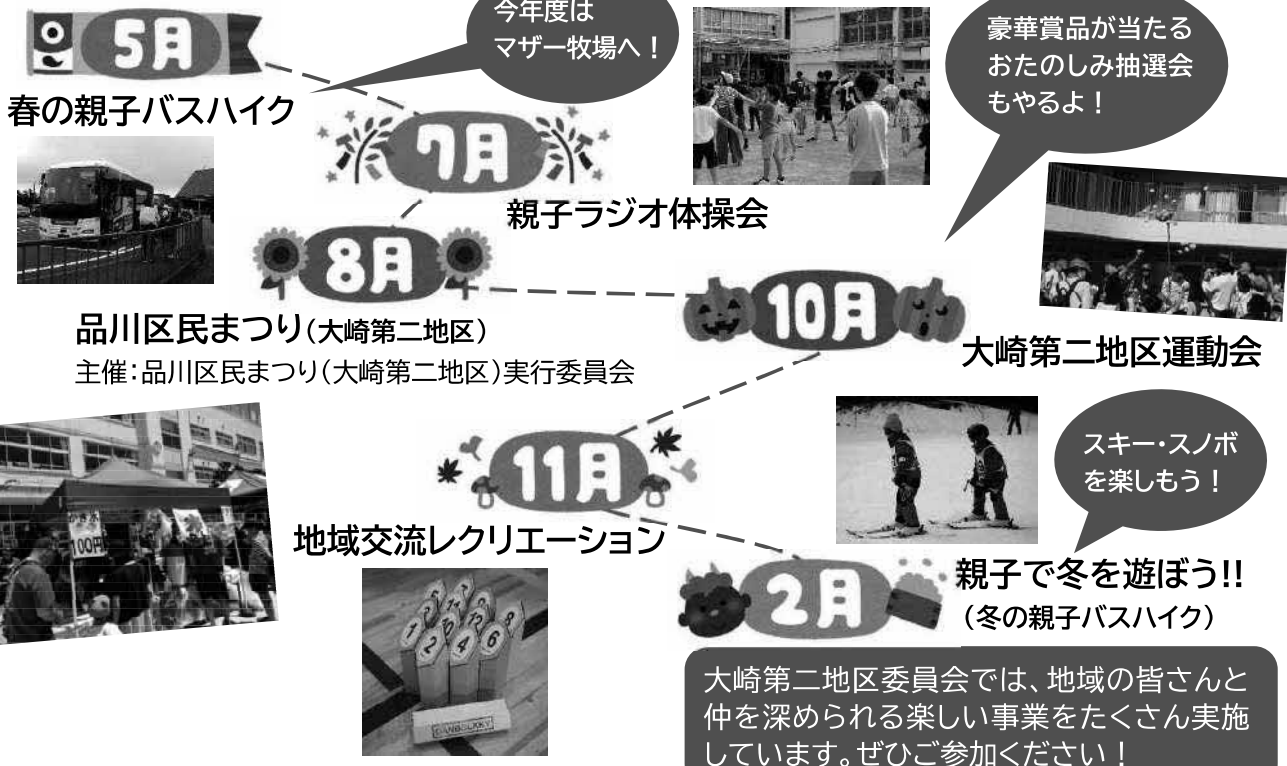
2025 秋号 No.160

おかげさまで 創刊40周年

ふれあいは、大崎第二地区の地域の方(大崎中・芳水小・三木小のPTA)が企画から取材、編集まで行っています。40年前、品川区の全出張所(現地域センター)で地域ニュースを発行することになり、大崎第二地区は「ふれあい」という名前でスタートしました。以来、長きにわたりご愛読いただきありがとうございます。皆様のおかげで、とうとう40周年を迎えることができました。

大崎第二地区委員会年間事業紹介

大崎第二地区には、地域ニュースのほかにも地域のつながりを深める活動があります。青少年の健全育成をめざして活動している大崎第二地区委員会もそのひとつです。今回は大崎第二地区委員会の事業の一部をご紹介します。



大崎第二地区委員会では、地域の皆さんと仲を深められる楽しい事業をたくさん実施しています。ぜひご参加ください！

※事業内容やスケジュールは変更となる場合がございます。

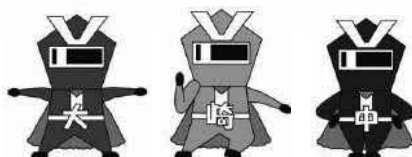
編集:大崎第二地域センター

40 周年
記念号企画

＼大崎第二地区管内の学校紹介／

大崎第二地区管内には、中学校が1校・小学校が2校あります。
今回は、3校の歴史や独自のキャラクターなど、様々な魅力をお知らせします！

大崎中学校



学校の紹介



大崎中学校は 1947 年 5 月 1 日、芳水小学校を仮校舎として開校しました。
当初は 297 名の生徒が二つの教室で学んでおり、机も椅子もない状態だったようです。
1949 年には現在の場所に校舎が完成し、さらに翌年 1950 年には校歌が制定されました。

創立 78 年を迎える今年度の大崎中学校のスローガンは「SAKICHU-PRIDE: 品位・活気・本気！」
です。『品位と活気にあふれ、自分の成長が実感できる学校』が目指す学校像となっています。

大崎中学校の生徒は学校外の地域活動やボランティア活動でも活躍しています。
これからも地域の皆様からの温かい応援をどうぞよろしく
お願いいたします！

また、来年度からは大崎中学校の制服がリニューアルします。
新しい制服を楽しみにして下さいね！





校章の由来



- 一、 柏の緑に満つる息吹
ああこれぞわが園
集いて励みて親しみて
よき知恵汲みて学びつつ
ひたすらに真慕わむ
- 二、 み空の青さになごむ調べ
ああこれぞわが胸
睦みてやわして省みて
よき行いに証しつつ
人の世の道を尽くさむ
- 三、 あまねし宇宙の波の動き
ああこれに和すもの
鍛えてつくりて培いて
よきおとずれを望みつつ
うるわしくみのり結ばむ

大崎中学校校歌

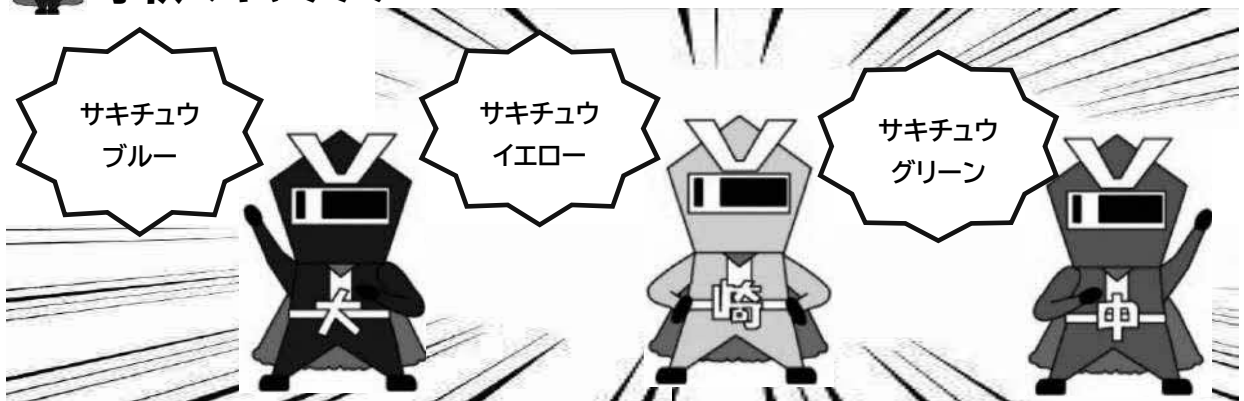
大木 惇夫 作詞
乗松 昭博 作曲

大崎中学校の校章に描かれているのは、柏（かしわ）という植物です。校歌にも歌われており、校庭には柏の木もあります。柏には、いつまでも緑をたたえ、新芽が出るまで古い葉が落ちないという特徴があります。

大崎中学校の生徒がどんな事にも負けず、常に前を向いて学校生活を送って欲しいという思いが込められています。



学校のキャラクター



大崎中学校のキャラクターは「サキチュウレンジャー」です！

2022年に創立75周年を盛り上げるために、当時の生徒が美術の授業で誕生させました。

マントのギザギザは校章でもある柏の葉をイメージして作られています。

サキチュウブルー、サキチュウイエロー、サキチュウグリーンの三人組で、その色には学年カラーが取り入れられています。

品川区立

大崎中学校

〒141-0033 西品川 3-10-6

<https://osaki-jh.shinagawa.andteacher.jp/>

学年	7年	8年	9年	合計
人数	67	68	84	219

(令和7年8月1日時点)



HP はこちら

編集：牧戸

芳水小学校

芳水小学校のキャラクター紹介
みんなの友だち「クスク」と、物知り「くすじい」



クスク

明るく元気な妖精。

好奇心いっぱい！みんなとすぐ仲良くなれる。校庭の大きな楠くすのきから生まれたというウワサも…？



くすじい

くすのき
校庭の大きな楠に住む、やさしい長老。
学校のこと、地域のこと、なんでも知っている。
たまにダジャレを言うお茶目な一面も。

ふたりは、芳水小学校の大きな楠に住んでいる仲良しキャラ。

クスクは子どもたちと遊ぶのが大好き、くすじいは歴史を語るのが得意。

これからもみんなを見守っていくよ。

このマークは僕たちの芳水小学校の校章なんだよ。



うむ。桜の花の中に「芳」の文字と「水」を表す3本の線をデザインしたもので、学校創設者のしげむねほうすい重宗芳水氏の理念が後世まで受け継がれていくことを祈念して制定されたのじゃ。



クスクとくすじいと振り返る芳水小学校のあゆみ



ねえくすじい、この学校っていつからあるの？



芳水小ができたのは、ずっと昔の1918年。
明電舎の初代社長の重宗芳水氏^{しげむねほうすい}が社員の子どもたちが
通う学校を作りたいと考えたのが始まりなんじゃ。

1918



ちなみに、校章が制定された
のは1935年のことじゃ。

1954



1969



2018



伝統の100m直線コースが受け継がれて、屋上緑化や太陽光発電など環境にも優しい校舎になったんじゃ！

今の校舎は4代目なんだね。
この頃クスクが生まれたよ！



大事に使っていきいたいね！

品川区立

芳水小学校

〒141-0032 大崎 3-12-22

<http://housui-es.shinagawa.andteacher.jp/>



HPはこちら

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
人数	112	116	118	126	139	126	737

(令和7年8月1日時点)

編集：倉田・夏間

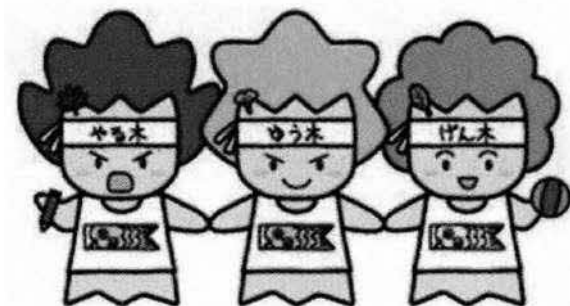
＜三木小学校の校章＞

三木小学校の校章は、子どもたちの学びと成長を見守る大切なシンボルです。現在使用されている校章は、1961 年 2 月 25 日に制定されました。旧校章から新デザインへと移り変わった背景には、三木小学校ならではの、ある理由があったのをご存じですか？

デザイン		リニューアルの理由
旧		旧校章は、デザインの中央に品川の「品」という字が書かれており、当時存在していた「品川小学校」の校章と間違われることがあったため、1961 年 2 月 25 日に今の校章に変更されました。
新		旧デザインの良さを残しつつ、より見やすくリニューアルされ、中央には堂々と学校名である「三木」の文字が配置されました。この校章は、三木小学校の独自性と、子どもたちが「三木の子」としての誇りを持てるようにという願いが込められています。今日まで、多くの卒業生や在校生を見守り続けています。

＜三木小学校の元気印！100 周年記念キャラクター＞

三木小学校創立 100 周年（2022 年 12 月 20 日）を記念して作られました。当時の三木小のスローガンであった「三木小学校 3 つの “き”」。やる気、ゆう気、げん気。」から誕生しました。



※左から「やる木」、「ゆう木」、「げん木」

3 つの “き” の起源

1987 年開校 65 周年に合わせて、三木の“き”をもとに「元気」「勇氣」「やる気」の標語が当時できました。そして、2022 年開校 100 周年を記念して「3 つの “き”」のキャラクターが誕生しました！

このキャラクターは、三木小の在校生からデザインを募集して作られました。代表 12 作品の中から全校投票によって選ばれたのが「やる木」、「ゆう木」、「げん木」です。当時 6 年生の児童が三木小のスローガン「三木小学校 3 つの “き”」。やる気、ゆう気、げん気。」から着想を得てデザインしました。やる木、ゆう木、げん木のハチマキを縮めて、三木小のシンボルでもあるこいのぼりのシャツを着ています。当時、このキャラクターがプリントされた T シャツが 100 周年の記念品として子どもたちに配られ、記念イベントなどで着用されました。

創立 100 周年の記念のキャラクターとして誕生した彼らは、各記念イベントが終わった後も、学校便りや様々な場面で登場して活躍し続けています。今では学校関係者、児童、保護者にも馴染みのあるキャラクターとなりました。

＜三木小学校を彩る伝統行事＞

□ 空に舞う夢！「こいのぼり上げ」

三木小学校の春の風物詩といえば、こいのぼり上げです。この伝統行事は、遡ること 1983 年に始まりました。当時の同窓会と PTA が協力し、西校舎の 3 階と体育館の間にロープを張り、28 匹の鯉のぼりが校庭の空を泳いだのが始まりです。その数は年々増え続け、今ではなんと 122 匹もの鯉のぼりが、三木小学校の青空を優雅に舞い、子どもたちの日々の成長を温かく見守っています。「子どもたちが、大きな夢を抱いて、すこやかに、伸び伸びと育つように」——。そんな教職員、保護者、そして父親倶楽部(※)の熱い願いと協力のもと、三木小学校の伝統行事として、今も大切に引き継がれています。

(※) 父親倶楽部…三木小学校に通う児童のお父さんたちが有志で集まり、学校行事運営補助で活躍しています。



□ 命を学ぶ体験「ますつかみ大会」

三木小学校で 2015 年から始まった「ますつかみ大会」は、子どもたちの食育の一環として、毎年 5 月に開催される人気のイベントです。今年は、5 月 17 日（土）に第 11 回目の大会が行われました！この大会では、プールに放流されたマスを子どもたちが素手で捕まえ、その場でさばき、炭火で焼いて味わうという、貴重な体験ができます。炭火で香ばしく焼き上げられた熱々のマスは、子どもたちに大好評です！「実際に生きた魚を見て、自分の手で捕まえて、さばいて、焼いて食べる」この一連の流れを体験することで、子どもたちは命の循環や命の大切さを肌で感じ、深く学ぶことができます。今年はいいにくの雨の中での開催となりましたが、父親倶楽部や保護者ボランティアの皆さんの温かい協力のおかげで、今年も多くの子どもの笑顔を見ることができました。子どもたちの成長にとって、かけがえのない体験の場となっています。



品川区立

三木小学校

〒141-0033 西品川 3-16-28

<https://mitsugi-es.shinagawa.andteacher.jp/>



HP はこちら 

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
人数	50	55	49	68	66	62	350

(令和7年8月1日時点)

編集：宅島・尾谷

☆大崎第二地域センター管内からのお知らせ☆

【報告】品川区民まつり(大崎第二地区)

8月2日(土)に大崎中学校にて品川区民まつり(大崎第二地区)を開催し、1,500名を超える多くの方々にご来場いただきました。

模擬店では焼き鳥やチュロス、タピオカドリンクなど様々な食べ物、飲み物が販売され、売り切れが出るブースもあり、大変好評でした。子どもコーナーでは、スーパーボールすくいやお菓子釣りなどのゲームを子どもたちが夢中で楽しむ様子が見られました。アトラクションステージでは、ダンスやチアリーディングなど各団体の息の合ったパフォーマンスに会場内は大盛り上がりでした。

ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。



【予告】第43回大崎第二地区運動会

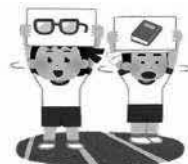
日時:10月19日(日) 午前9時30分から午後1時(午前9時開場)

会場:芳水小学校(大崎3-12-22)

子どもから大人まで楽しめる運動会です。ぜひご参加ください!

※詳細はポスター、ホームページ等でお知らせします。

※雨天時は午前9時30分から体育館で抽選会のみ実施予定



■国勢調査が始まります■

5年に一度の国勢調査が10月1日を基準日として実施されます。

日本に住むすべての人と世帯が対象で、外国人の方も含みます。

9月下旬から国勢調査員が各世帯を訪問し、調査票を配布します。

回答期限は10月8日です。

調査結果は国や地方自治体の基礎資料として、各分野で活用されます。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

【問合せ】地域活動課統計係 TEL5742-6869 FAX5742-6750



地域コミュニティ誌『ふれあい』 2025年 秋号 No.160 2025.9.22発行

事務局:大崎第二地域センター TEL:3492-2000 FAX:3492-2095

「ふれあい」は、大崎第二地区の地域の方(大崎中・芳水小・三木小のPTA)がボランティアで取材・編集している地域コミュニティ誌です。

「ふれあい」は、品川区役所ホームページからもご覧いただけます。

⇒<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>

品川区 地域ニュース ふれあい

検索

詳しくは
こちら⇒

